

戸田小学校

家庭教育資料

厚木市立戸田小学校

21年度から「学校だより」に、私たちが「生きていく」道標（みちしるべ）として、参考になる諺や言葉を記載しています。

教師と保護者の皆さんが共に「子供のより良い育ち」に向かって連携できればと考えています。ご協力お願いいたします。

家庭教育資料

「徳智修開」

読み方： 「とくちしゅうかい」

意味 : 人間として正しい心を持ち、良い行いをし、知（智）恵や知識を学び、世の中に役に立つ人になりましょう。

「善悪の道しるべ」

最近、他人の迷惑にならなければ何をしても良いと考えている人が多いようです。小さい頃からさんざん聴かされる「他人の迷惑になることはしてはいけない」は、「迷惑にならなければ何をしても良い」とはちがいます。

「他人の迷惑になることは、してはいけないことのほんの一部」であります。

実際に、してはいけないことは「他人の迷惑」「法律違反」以外に、「卑怯なこと」「恥ずかしいこと」「偽善的なこと」「バチの当たること」「祖先の顔に泥を塗ること」「親を悲しませること」など、数多くあります。

「他人に迷惑をかけることはいけない」を、教えるには「自分が同じことをされたら

いやでしょう」でよいし、「法律に触れてはいけない」は、お巡りさんにつかまり、牢屋に入れられるよ」ですみます。この二つは、論理的に説明しやすいものです。

しかし、**他の禁じ手は教えにくいものが多くあります**。多勢で一人をいじめてはいけない、たとえ多勢が正しく、一人が性悪の大嘘つきであってもいけないということを、論理的に教えるのは難しい。「卑怯」という以外に理由がないからである。強い者が弱い者を殴るのも、同様だと思えます。

私たちが一生を過ごす人間社会の中で論理的に示しにくい「善悪」は数多くあります。

「卑怯・恥」等の悪、「誠実・感謝・慈愛・勇気・名誉・忍耐・礼節・年長者への敬意・親孝行」等の善、昔から「生きていく道しるべ」になってきたと思いますが、これらの善悪は失われつつあり、指導しにくくなっています。

以前は、「たとえ話」や「昔話」「児童書の読み物」の中に数多くあり、回りの大人が、読み聞かせや、大人の日常生活の姿から、少しずつ「善悪」の物差しを身につけていったものと思えます。

今の「子ども達の姿」は「大人の姿」を反映させたものだといわれますが、であるならば、なおさら、私たち自身が「人間社会の中で、よりよく共存して生きていく」為の「生きていく道しるべ」を身につけているかを振り返ってみてはいかがでしょう。

子どものよりよい育成の為には、よりよい育成環境が大切になってきます。私たちの生き様が「よりよい育成環境」になっているか？を振り返りながら、新しい年度を生活していけるとよいですね。**共に**頑張りましょう。

子育てに欠かせないもの」

「人間」＝人の間（あいだ）と書きます。

人間は、一人では生きていけない生き物ですから「人間」と言われているのでしょう。私たち人間は一人では「人」になれず、人との関わりの中でしか「人」になれません。気の合う子だけの友だち関係だけではなく、様々な性格の子どもとの「集団活動」を通して、「優しい心」「協力する心」などを身につけていきます。

また、人と人の中には距離があります。この距離を埋める方法を互いにさぐり、実行することにより、「より良い人間関係」を維持した人間社会ができるものと信じています。

より良い人間関係ができていないところに「子育て」は成り立ちませんし、協力して育む事は不可能です。

子どもたちのより良い育みには「環境」が大きく影響いたします。私たち大人（保護者・教師・地域の方々）の人生観や自己成長に向けた取り組みが、子どもの育ちに欠かせない大きな環境になります。

「一日24時間」は皆平等、

「思考と行動」で、幸・不幸が決まる。

幸せのパスポート 「笑顔・あいさつ・ありがとう」の実践

人生の三カン王 「関心・感動・感謝」をめざしましょう

「しつけは子どもへの大切な贈り物」

早寝早起きをする 習慣をつけましょう。

毎日 朝食をとる 習慣をつけましょう。

あいさつする 習慣をつけましょう。

規則正しく排泄する習慣をつけましょう。

靴や持ち物を整理する

習慣をつけましょう。

お手伝いをする 習慣をつけましょう。

～ は「家庭教育の充実度」のリトマス試験紙です。

「基本的な生活習慣」は、お子さんの実態にあった家庭教育がされなければ身に付きません。ご家庭の取り組み方によって決まります。

「子は大人の鏡」「子の将来は親力」で決まります。

「豊かな心」は「豊かな心を育む家庭環境」の中で育ちます。私たち自身の「豊かな心」育てが必要ですね。家庭と学校・地域の協力が大切だと思います。

子は「親・教師・大人」の鏡

「1日24Hは皆 平等」 思考と行動で幸せ感が異なる」

1日24時間はみなに平等に与えられていますが、その人の思考の仕方と行動で幸不幸が決まってきます。子どもを育てる周りの大人、とりわけご両親が、どのような思考(プラス・マイナス)をするかが、子どもの育ちに大きな影響を与えるようです。

様々な能力を持ち、より良く育つ子どもでも、いつもマイナス思考の環境の中では、落ち着きのある安心した生活体験ができず、結果的に親の願う、親の言うとおりに育たずに、親のするとおりの思考や行動をまね、不安定な生活をするが多くなります。

子どもを育てるには、ある程度、楽観的な「鈍感力」と積極的な「プラス思考」をすることによって、育てる親にも大きな影響を与えます。ぜひ、プラス思考のメンタルトレーニングを実践してみましょう。

また、「教え育てるだけの教育」はあり得ないと考えています。教え育てるだけの教育は、どこかで大きな破綻をきたします。共に育つ「共育」に向かって、私たち大人(親)の意識改革をしていきましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・

手足は自分の物と実感できます、しかし、顔は鏡がなければ、自分で見ることはできません。ですから、「周りの人」のためにある顔だと考えてみましょう。周りの人のためにある顔と考えた場合、どのような表情で人と接すればよいのでしょうか？

「おこった顔」は、他の動物も行いますが、人にしかできない顔：「笑顔」は私たち人間にしかできません。その「笑顔」もトレーニングをしなければ、笑えなくなることを知っていますか？

また、病気になってしまうと、「笑顔」が出せなくなります。日々、

「笑顔」トレーニングを実践しましょう。

「ことば について」 「ことばは かおり」と同じ

言葉というのは、良くも悪くも「強い力」を持つものです。言葉によって一生立ち直れないくらい人を傷つける事もできる。ほんの少しの言葉で、絶望の淵にいた人間に救いを与えることもできる。あるいはちょっと漏らす言葉によって、その人の心の奥にある醜い心を白日の下にさらけ出すこともある。

ところが、多くの人が、そのような言葉の威力をあまり感じていない。気軽に言葉を用い、安易に言葉を聞き流す。そして、日常的な言葉の中でも、もっとも安易で、もっとも内面を表してしまうのが「口癖」である。

人には様々な「口癖」がある。自分ではまったく気づいていないのに、しばしば同じような言葉を口にしていて、そして、他人を傷ついたり、慰めたり、自分の心をさらけ出して、嫌われたり、人々を呆れさせたりしている。

そうしていながら、多くの人がそのことに気づかず、自分はなぜ人に嫌われるのだろうかなどと、疑問に思っていたり、人を傷つけていながら平気でいたりする。時には「口癖」が原因で周囲に軽く見られ、実際以上の低い評価を受けているかもわからない。

それだけではない、悲観的な口癖が多い人は、他人を不愉快にすらばかりか、知らず知らずのうちに、自分の思考をマイナス方向にばかり向けていて、楽しくない人生を歩んでしまうことが多い。

それとは逆に、不都合なことや困難な出来事に遭遇しても、楽観的な口癖が出せる人には、辛く悲しいこと不幸なことが、早く解決したり、周りの人々を和ませたり、安心させたりさせてくれる。私たちの幸・不幸はその人の、思考と行動によって決まることが殆どである。

言葉ひとつで、自分の未来を羽ばたかせたり、逆に自分の将来の芽を摘んでしまうこともある。だからこそ、悪い話し方をする人は、悪い人に見えるばかりでなく、本当に悪い人になってしまう。未来を切り開く言葉を口癖にすれば、生き生きした生活ができるようになると信じている。

「ことば」は花の香りのように、周りに漂っていきます。ですから「ことばは かおり」といっても過言ではないですね。

「いよいよ 読書の秋・勉強の秋」 学習準備を忘れないよう

「かまえ・準備 無くして能力育たず」

お子さんに「学校で学習」する用具の準備・宿題・予習の準備はできていますか？。前日の夕飯前か少なくとも眠くなる前までに保護者の方が確認して頂くとありがたいと思います。

学習用具や宿題忘れを無くし、学力や社会性を育てたいですね。

「性格・人間性のテスト」何で行うの？

「学力」定着度は何で判断するのでしょうか？

学校で習う学習内容の定着度合いを点検するものとして「テスト」があり、学校では日常的に行い、評価の材料の一つとして利用します。自ら、テスト結果を皆に知らせない限り、お友達には「自分の学力」はわかりにくいです。

「性格・人間性」の判断は何ですか？

私たちの周りには様々な人がいて、様々な関わり合いを行いながら、日常生活を送っています。

様々な交流・活動を通して、

さんは優しい、

さんはわがまま、

さんは素直、

さんは乱暴、

さんは短気・・・等の判断をしていることが多いようです。これらの判断を「紙によるテスト」はしていませんが、私たちの「人間性・性格」は、「言葉づかい・表情・行動等」で常にテストされています。自らの言動で「得をする人・損をする人」が決まってきます。人からの評判が良い場合、悪い場合大きな違いがありますね。子どもにも指導したいですね。

表情 ことばづかい

話し方 行動・しぐさ

アクシデント発生時の行動や態度・・・等

- ・私たちの「性格・人格の診断」テストとして使われています。
- ・少しのことで悪い勘違いをされないように気をつけたいものですね。

「家庭の絆を深める」

親と子の心を育て、家庭の絆を深める場は地人や学校ではなく「家庭」にあります。そして、その家庭の雰囲気高め、家族の幸せを築いていくのは、他人ではなく、当事者である家族一人一人の力を合わせていくしかありません。

家族の絆を深めるために、私たちはどのようなことができるのでしょうか？

明るくあいさつに心がける。

肯定的で美しいことばを多く使う。

家族みんなで食卓を囲む機会を多く持つ。

朝、家族と握手して出かける。

子どもの話は素直に耳を傾けて聴く。

家族の長所を見つけほめる。

家族の一員としての役割を担う。

(お手伝い等を通して)

家族みんなで力を合わせて、家の仕事や作業をする。

その他にも、まだまだたくさんありそうです。

「お正月を迎えるにあたって」家庭の温度を上げるために、家族全員で話し合う機会を作ってみてはいかがでしょうか。家族集まって話し合う、そのこと自体が雰囲気を高め「家族の絆を深める」ことにつながっていくものです。

家族の絆を深める。人間関係を高める。これらのことは思っているだけでは深めたり高めることはできません。仕込み(事前準備や活動等)が必要です。良い醤油・お酒・お餅・漬物・料理・わら細工・・・等、すべて、どんな仕込みをしているかによって「良い物」になるかが決まってきます。

全ての事柄について「仕込み」が重要だと言っても過言ではありません。

絆を深める「仕込み」を大切にしましょう。

「当たり前」は宝箱

「当たり前」の行動は宝箱！

「自分をほめる事」・「ありがとうと思える事」の宝箱！

「一日24時間」を当たり前のように生活している。

朝起きてからの生活

学校に来ること

学校での生活

友だちとの遊び

学校から歩いて下校

家での生活

家族との会話

ふとんに入り寝る

…等。

毎日繰り返しの生活、「一日24時間」の生活の中に、「自分をほめる事」「ありがとう」と感謝する事が！ いっぱいまっている宝庫（楽しくする宝物がある）である。

「楽しくする宝」探しができる人とできない人 大きな差ができる。

「自分を良くする宝」を沢山探せる人 「力が伸びる」

手足は自分の物、顔は人の物」

「手足」は自分で見ることができ、ある程度自由に動かせますから、自分の物と実感できますが、自分の「顔」は写す鏡などがなければ、自分で見ることができません。ですから、人(周りの人)のためにあると考えよいでしょう。

また、「幸せは周りの人が運んでくれることが多く、周りの人は「幸せを運んでくれる人」神様・仏様と考えてみましょう。

「幸せをはこんでくれる人「神様・仏様」が、気付くか気付かないか大きな違いが生じます。

気付いてもらう道具が「我々が持っている顔」であると考えて良いのでは？

「幸せになる道具「笑顔とあいさつ」を大切にしたいですね。

「自分をほめていますか？」 子ども向け

いろいろなことで、
熱心に取り組んでいるあなた？
自分をほめていますか？
あなたを含め、私たちには
自分をほめることがたくさんあります。

- ・ 学校に来られていること。
- ・ あいさつができたこと。
- ・ はやね、はやおきができたこと。
- ・ お手伝いができたこと。
- ・ 学習準備ができたこと。
- ・ 友達と仲良く生活できたこと。
- ・ 友達に協力できたこと。
- ・ 宿題をしてきたこと。
- ・ そうじがしっかりできたこと・・・等

誰にでも、ほめることがたくさんあります。
ほめないと自分自身がかわいそうです。

「自分をほめること」を見つける力を、
自分で育ててみましょう。

「自分自身をほめること」ができる人が、
「友達をほめることができる」ようになります。

能力を伸ばすために！遺伝子のスイッチの入れ方」

受精の写真は今まで映像などで何度も見てきたことがあると思います。数万匹の精子が泳いでいき、その中で元気のいい精子が卵子にたどり着き、そこで赤ちゃんが生まれると教わってきました。しかし、良く研究すると、精子が卵子の一番外側にたどり着くと、精子は全く動かなくなってしまう。この死んだような精子を卵子が飲み込み、受精が始まる。精子が死んでも、精子の中の遺伝子があれば受精が出来るということが分かってきたそうです。

細胞はみなはじめは同じで、置かれた環境によって肺になるか心臓になるか決まってきました。置かれた環境によって、遺伝子のスイッチの入り方が違ってきます。イギリスのクローン羊が誕生しましたが、これは乳腺の細胞から赤ちゃんが生まれました。乳腺の細胞は乳腺という環境の中にしかいなかったら、乳腺の働きしかしません。しかし、乳腺の細胞の遺伝子を「卵子」という新しい環境に持っていくと、遺伝子にスイッチが入り、赤ちゃんが生まれました。

我々の遺伝子は置かれた環境によってスイッチの入り方が変わり、働き方が異なってきます。私たちの心のメカニズムの確立も同じです。ですから、子どもの周りの環境との関わりがとても大切になってきます。

植物も同じで、種をまいても悪い環境のもとではその植物の本来持っている成長が期待できず、望む花も咲きません。その植物の生長に適したよい環境のもとにまくと、根が生え、芽が出て、葉がでて、望む花が咲くのです。全ての生物は環境によって成長の仕方が決まってきました。

奇形の生物がいるとします。その原因は持って生まれた遺伝子の異常がある場合ともう一つは、遺伝子が正常であっても、その遺伝子のスイッチの入り方の順序が違っている場合だそうです。遺伝子のスイッチの入り方には順序性あるということを知っててください。

全ての生物が能力を発揮するためには、遺伝子と環境が一体化して決まってきました。さらに、遺伝子に影響を及ぼすのは「心」です。病院へ行くと思うだけで心拍数が上がります。これは心と体が遺伝子によってつながっているということなのです。「病は気から」といわれますが、前向きな気持ちが大切です。

子育てで大事な事は、私たち大人が、子どもにとって一番大事な人的環境になると言うことです。子ども達にどういう言葉かけや体験をさせるかで、子ども達の遺伝子のスイッチの入り方が違ってきます。

子ども達に間違ったスイッチの入り方をすると、必ず表情、言葉づかいなどの表現形に変化が見られます。私たち大人がそこを見過ごさないことが大切です。

共に手を取り合って協力していきましょう。

「子どもたちのためにできることは」

家庭・学校・地域などで、子どもたちを取り巻く全ての場
所できっとできることがあるのではないのでしょうか？

学 校

学校での営みを見直すための7つの問い！

学校は、子ども達にしっかりと学力を身につけさせ、
先生や友人との人間関係をつうじて対人関係の基本を
育てているのだろうか？

教師は一人一人の子どもに自信を持たせる努力をしてい
るだろうか？

学校は、道徳教育を魅力的に説得的なものにするよう、
工夫をしているだろうか？

道徳の時間だけではなく、学校全体で「こころを育む」
という姿勢をとっているだろうか？

学校では「こころを育む」ための具体的なアクションをと
っているだろうか？

学校と親（保護者）とは、たがいの立場を尊重・理解し、
協力し合う関係にあるだろうか？

学校と地域の大人たちは、一致協力して、子ども達の居
場所、子どものための相談場所をもうけているだろ
うか？

「子どもたちのためにできることは」

家庭・学校・地域などで、子どもたちを取り巻く全ての場
所できっとできることがあるのではないのでしょうか？

家 庭

家庭での営みを見直すための7つの問い！

幼い子どもに親（保護者）は、たっぷり愛情をそそいで
いるだろうか？

子どもの良い点をしっかり誉めて、自信を持たせているだ
ろうか？

子育ての不安、ストレスへの対応は、家族、親戚、近隣、
保育所などでともに担われている だろうか？

子育ては苦労もあるが、幼い命を育む喜びと楽しみがあ
るということが、きちんと認識されているだろうか？

親（保護者）の姿勢が、子どものこころを創っているという
自覚があるだろうか？

家族で、子どもの頃から良い生活習慣を身につけさせて
いるだろうか？

子どもは社会のみんなが育てるもの、家族はその中でも
重要なものだという認識をしているだろうか？

「子どもたちのためにできることは」

家庭・学校・地域などで、子どもたちを取り巻く全ての場
所できっとできることがあるのではないのでしょうか？

地 域

地域社会における育みを考えるための7つの問い！

地域の誰もが、子どもの心を育もうとしているだろうか？

地域独自の役割を考え取り組んでいるだろうか？

地域の中で子供の居場所を考えているだろうか？

地域活動を促進する取組を実施しているだろうか？

子どもの視点に立った町づくりをしているだろうか？

地域活動の活性化を図っているだろうか？

地域は子供の自立・たくましさを育てているだろうか？

家庭教育資料

家族の会話の促進
「ありがとう賞」